

みどりと共に生きていく

わたしたちの暮らしは、たくさんの生きものの恵みに支えられています。植物やサンゴは酸素をつくり、虫が花粉を運び野菜が育ち、大昔の生きものから燃料ができています。これらはわたしたちが生きていくために欠かせないものです。

今、地球温暖化や自然破壊などのさまざまな原因により、大切な生きものが大変な勢いで減っています。

生きものとわたしたちの生活の関わり



他にもたくさんの関わりがあります。みんなも考えてみよう！



生物多様性

「生きものはそれぞれ違って、みんなが関わりあって生きている」ことを生物多様性と言います。それぞれの役割、関わりがあって初めてみなさんが暮らしていけるのです。

たとえば、鳥は木の实などを食べ、ふんに含まれる種や食べ残した種からは木が生えます。虫は木の葉や鳥の死がいなどを食べて細かくし、木が根をはるための土をつくり、木は鳥や虫が息を吸うための酸素をつくり、すみかとなります。

このように、お互いの関わりがあってわたしたちを含めた地球上のたくさんの命が暮らしています。

所沢市のみどり

所沢市には樹林・草原・畑・川などの生きものを育む「みどり」があります。市の約45%がみどりに覆われています。このみどりを守り、育てるためにはみなさんの協力が必要です。



生物多様性に影響を及ぼす要因

人間による開発

道路や住宅などをつくるために、生きもののすみかとなるみどりが壊されています。



管理不足

樹林を手入れする人が減り、すみにくい環境となることで、生きものが減っています。



化学物質

農薬や化学肥料などの化学物質が、生きものの生育などに悪い影響を与えることがあります。



外来種

人間によって外から持ち込まれた生きものが、元からいた生きもののすみかを奪っています。



所沢市の取組み

地域みなさんで樹林の手入れをしたり、まちに花を植えたりする「みどりのパートナー」という仕組みがあります。また学校では夏に「みどりのカーテン」をつくっています。自然に親しむイベントも開催しているので、参加してみてくださいね！



考えてみよう！

「わたしたちにできること」 みどりや生物多様性を 守るために

たとえば、“お家でみどりを育てる”、“お祭りですくった金魚を川に放さない”など。他にはどんなことができるだろう？

-
-
-

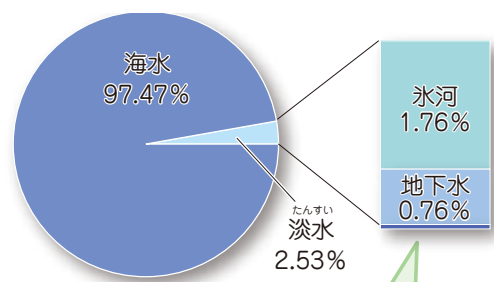
もう一歩
考えてみよう！

みんなが考えた
「できること」に関連する
ゴールはどれだろう？
○をつけてみよう！

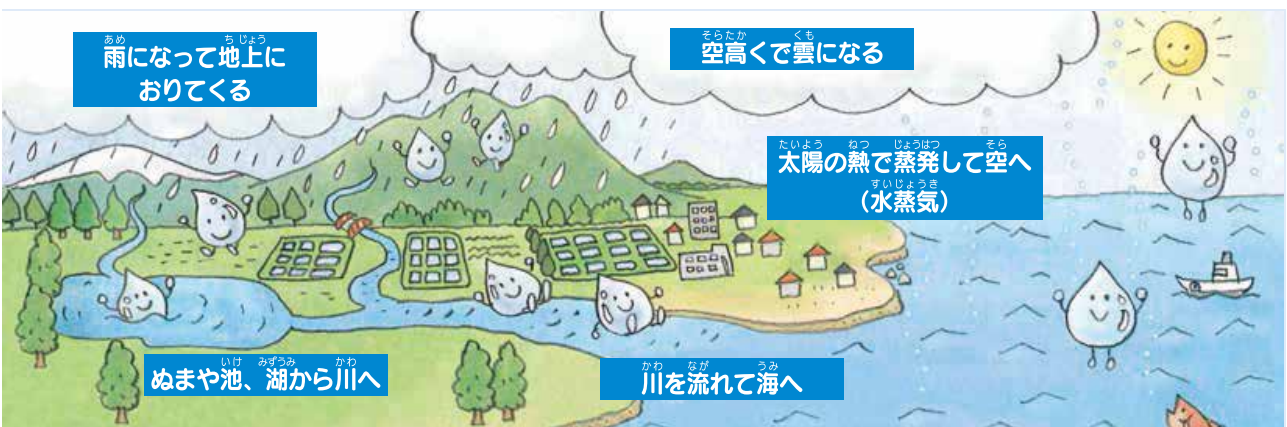


水と共に生きていく

川や海の水は、太陽の熱によって蒸発して雲になり、雨や雪となってふたたび地上にもどり、川や海の水になります。このように、地球上の水は循環しています。水は川や海のほかに地下水や氷などいろいろな姿をしていますが、わたしたちが利用しやすい川や湖などの水は、地球上のすべての水のうち、わずか0.01%でしかないのです。



地球上の水のうち、わたしたちが使える水は0.01%



わたしたちが使える水は思ったよりも少ないんだね。貴重な水だから普段から大切にしていこう！



所沢の水辺

所沢市の魅力は、まちのにぎわいとみどりの豊かさが隣り合わせにあることです。狭山丘陵の美しいみどりや狭山丘陵からまちへと流れる柳瀬川、東川、砂川堀などの水辺には、たくさんの生きものが暮らしています。

みなさんも意識して散歩してみてください。きっとステキな発見がたくさんあるはずですよ。



柳瀬川



東川



砂川堀

川にすむ生きもの

川にはたくさんの生きものがあります。所沢の川は水が汚れてしまい生きものが減りましたが、最近水がきれいになり、生きものが増えました。橋の場所については、p.26を参照してください。

柳瀬川の上流（大鐘橋）

ギンブナ、カワムツ、タモロコ、ヤマトクロスジヘビトンボなど



カワムツ（2021年7月26日）

柳瀬川の中流（松戸橋）

オイカワ、カワムツ、アユ、ヤマサナエなど



アユ（2021年8月2日）

きれいな川を守るために

所沢市では、汚れた水を川に流さないように下水道を整備しています。また、多くの地元の人たちが川をきれいにする活動をしています。

かつて、柳瀬川に流れる田んぼの水路には、ミヤコタナゴが生息していました。生きものがいる、きれいな川にしていきましょう。



川の清掃活動



国の天然記念物 ミヤコタナゴ



「わたしたちにできること」 きれいな水を保つために

たとえば“シャンプーの量は少なめにする”など。他にわたしたちにできることはどんなことだろう？

-
-
-



みんなが考えた
「できること」に関連する
ゴールはどれだろう？
○をつけてみよう！

